

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和4年12月5日(2022.12.5)

【公開番号】特開2021-40843(P2021-40843A)

【公開日】令和3年3月18日(2021.3.18)

【年通号数】公開・登録公報2021-014

【出願番号】特願2019-164094(P2019-164094)

【国際特許分類】

A 63 F 7/02 (2006.01)

10

【F I】

A 63 F 7/02 304 D

【手続補正書】

【提出日】令和4年11月25日(2022.11.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技を行うことが可能な遊技機であって、

検出有効期間において遊技者の動作を検出可能な検出手段と、

第1位置と、少なくとも該第1位置とは異なる第2位置へ動作可能な可動体と、

前記可動体の動作制御を行う可動体制御手段と、

特定演出を実行可能であり、該特定演出の演出結果に応じて前記可動体制御手段へ前記可動体を動作させる情報を送信可能な演出制御手段と、を備え、

前記可動体制御手段は、前記演出制御手段から送信された前記情報にもとづいて前記可動体の動作制御を行い、

前記特定演出の演出結果に応じて、該特定演出において前記第1位置から前記第2位置の間の第3位置と該第3位置とは異なる第4位置とを含む複数の結果位置へ前記可動体を動作させ、

前記特定演出において前記結果位置へ前記可動体を動作させる前の前記検出有効期間に前記検出手段が遊技者の動作を検出したことにもとづいて、前記第2位置方向へ、前記可動体を前記第1位置から前記第2位置までの移動量よりも小さい単位動作量の動作をさせる単位動作を複数回実行可能であり、

前記演出制御手段は、

前記特定演出における前記検出有効期間において前記検出手段が遊技者の動作を検出したことにもとづいて、前記可動体を前記単位動作させる単位動作情報を前記可動体制御手段へ送信し、

前記特定演出における前記検出有効期間が経過したときに前記可動体が前記結果位置に到達していないときは、前記結果位置と、前記単位動作により動作させた動作量との差分に対応する差分量の動作をさせる差分動作情報を前記可動体制御手段へ送信し、

前記特定演出における前記検出有効期間が経過したときに前記可動体が前記結果位置に到達していない場合において、所定の条件を満たすときは、前記差分動作情報を前記可動体制御手段へ送信せず、

発光手段をさらに備え、

前記特定演出において前記結果位置へ前記可動体が到達した後の前記検出有効期間に前記検出手段が遊技者の動作を検出した場合、前記単位動作により前記可動体を動作させると

30

40

50

きと同じ態様で前記発光手段を発光させる、

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

上記目的を達成するため、本発明に係る遊技機は、

遊技を行うことが可能な遊技機であって、

検出有効期間において遊技者の動作を検出可能な検出手段と、

第1位置と、少なくとも該第1位置とは異なる第2位置へ動作可能な可動体と、

前記可動体の動作制御を行う可動体制御手段と、

特定演出を実行可能であり、該特定演出の演出結果に応じて前記可動体制御手段へ前記可動体を動作させる情報を送信可能な演出制御手段と、を備え、

前記可動体制御手段は、前記演出制御手段から送信された前記情報にもとづいて前記可動体の動作制御を行い、

前記特定演出の演出結果に応じて、該特定演出において前記第1位置から前記第2位置の間の第3位置と該第3位置とは異なる第4位置とを含む複数の結果位置へ前記可動体を動作させ、

前記特定演出において前記結果位置へ前記可動体を動作させる前の前記検出有効期間に前記検出手段が遊技者の動作を検出したことにもとづいて、前記第2位置方向へ、前記可動体を前記第1位置から前記第2位置までの移動量よりも小さい単位動作量の動作をさせる単位動作を複数回実行可能であり、

前記演出制御手段は、

前記特定演出における前記検出有効期間において前記検出手段が遊技者の動作を検出したことにもとづいて、前記可動体を前記単位動作させる単位動作情報を前記可動体制御手段へ送信し、

前記特定演出における前記検出有効期間が経過したときに前記可動体が前記結果位置に到達していないときは、前記結果位置と、前記単位動作により動作させた動作量との差分に応する差分量の動作をさせる差分動作情報を前記可動体制御手段へ送信し、

前記特定演出における前記検出有効期間が経過したときに前記可動体が前記結果位置に到達していない場合において、所定の条件を満たすときは、前記差分動作情報を前記可動体制御手段へ送信せず、

発光手段をさらに備え、

前記特定演出において前記結果位置へ前記可動体が到達した後の前記検出有効期間に前記検出手段が遊技者の動作を検出した場合、前記単位動作により前記可動体を動作させるときと同じ態様で前記発光手段を発光させる、

ことを特徴とする。

上記目的を達成するため、他の遊技機は、

遊技を行うことが可能な遊技機（例えばパチンコ遊技機1など）であって、

検出有効期間において遊技者の動作を検出可能な検出手段（例えばプッシュセンサ35Bなど）と、

第1位置と、少なくとも該第1位置とは異なる第2位置へ動作可能な可動体（例えば第1可動体054AK001など）と、

前記可動体の動作制御を行う可動体制御手段（例えば動作処理を実行する演出制御用CPU120など）と、

特定演出を実行可能であり、該特定演出の演出結果に応じて前記可動体制御手段へ前記可動体を動作させる情報を送信可能な演出制御手段（例えばステップ054AKS032の第1可動体動作制御処理を実行する演出制御用CPU120など）と、を備え、

10

20

30

40

50

前記可動体制御手段は、前記演出制御手段から送信された前記情報にもとづいて前記可動体の動作制御を行い（例えば図11-13における動作処理において命令に応じた動作を実行するなど）、

前記特定演出の演出結果に応じて、該特定演出において前記第1位置から前記第2位置の間の第3位置と該第3位置とは異なる第4位置とを含む複数の結果位置へ前記可動体を動作させ（例えば動作位置として中間位置1や中間位置2へ動作させるなど）、

前記特定演出において前記結果位置へ前記可動体を動作させる前の前記検出有効期間に前記検出手段が遊技者の動作を検出したことにもとづいて、前記第2位置方向へ、前記可動体を前記第1位置から前記第2位置までの移動量よりも小さい単位動作量の動作をさせる単位動作を複数回実行可能であり（例えばステップ054AKS079の処理を実行可能であるなど）、

10

前記演出制御手段は、

前記特定演出における前記検出有効期間において前記検出手段が遊技者の動作を検出したことにもとづいて、前記可動体を前記単位動作させる単位動作情報を前記可動体制御手段へ送信し（例えばステップ054AKS051の処理を実行するなど）、

前記特定演出における前記検出有効期間が経過したときに前記可動体が前記結果位置に到達していないときは、前記結果位置と、前記単位動作により動作させた動作量との差分に対応する差分量の動作をさせる差分動作情報を前記可動体制御手段へ送信する（例えばステップ054AKS054の処理を実行するなど）、

ことを特徴とする。

20

30

40

50